

お客様各位

2019年12月19日  
北興化学工業株式会社

## 変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
此の度、2019年12月18日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

### 農薬名

第18717号 ホクコーユニハーブフロアブル

### 適用変更の内容

- ・ 作物名「移植水稻」の使用時期「移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで」の使用方法「原液湛水散布」を、使用方法「原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下」に変更する。
- ・ 適用土壌、適用地帯の欄を削除し、適用雑草名の「ヘラオモダカ（北海道、東北）」を「ヘラオモダカ」に変更する。
- ・ 適用雑草名「水田一年生雑草」を「一年生雑草」に変更する。

### 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ	植代時 (移植7日前まで)	500 ml/10a	1回	植代時に原液のまま 散布し混和する	2回以内	2回以内
		植代後～ 移植7日前まで			原液湛水散布		
		移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用 又は 無人航空機による滴下		
		移植時			田植同時散布機で施用		

使用上の注意事項: 下記を追加する。

水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。  
処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。

梅雨期等、散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。

次頁に続く

続き

本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ること。

- ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
- ② 滴下に当っては散布装置のノズルを使用しないこと。
- ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
- ④ 隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないこと。
- ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- ⑥ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- ⑦ 本剤の滴下を使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。

安全使用上の注意事項: 下記を追加する。

無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら ([農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧](#)) からご参照下さい。

以上